

授業科目名 (英文名)	グローバルヘルス (Global Health)	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	1年次・前期
担当教員	渡辺 長 梅田 麻希 新福 洋子	所属	看護学部 非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>< 講義目的 > 世界人口の約80%を占める途上国の人々の健康、地球規模で発生している健康課題について、その要因となる社会構造、それに対処する諸機関と戦略について学び、一人の人間として、また看護職として、どのようにそこに貢献するかを、自国の状況も含めて考える。</p> <p>< 到達目標 > グローバルヘルスの概念とそれを支える看護の役割について理解できる。 看護基礎能力である異文化理解や文化的感受性を身につける。 自らが国際社会の一員であることを理解できる。</p>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容・授業計画</p> <p>第1回 世界の健康課題：変わりゆく疾患構造〔梅田〕</p> <p>第2回 途上国の子どもの健康〔新福〕</p> <p>第3回 途上国の女性の健康〔新福〕</p> <p>第4回 グローバルヘルスを学ぶ意義〔渡辺〕</p> <p>第5回 世界・国内の移民の動向〔渡辺〕</p> <p>第6回 移住者の生活、移住者の健康課題〔渡辺〕</p> <p>第7回 異文化理解の基礎知識〔渡辺〕</p> <p>第8回 異文化背景を持つ対象へのケア〔渡辺〕</p> <p>第9回 世界の健康格差〔渡辺〕</p> <p>第10回 JICA関西 訪問研修I JICAの活動〔梅田〕</p> <p>第11回 JICA関西 訪問研修II 途上国の生活と国際保健活動の実際〔梅田〕</p> <p>第12回 途上国の保健医療の基本：プライマリヘルスケア (PHC)〔渡辺〕</p> <p>第13回 国際保健の様々なアクター、MDGs & SDGs〔渡辺〕</p> <p>第14回 途上国支援の様々なアプローチ〔梅田〕</p> <p>第15回 世界の健康と看護の役割〔梅田〕</p>		
テキスト	柳澤理子(2017)：改訂版 国際看護学 看護の統合と実践．ピラールプレス 適宜、資料を配布する		
参考文献	八代京子、異文化コミュニケーションワークブック、三修社、2016 志賀 玲子、多文化社会で多様性を考えるワークブック、研究社、2018		
成績評価の基準・方法	<p>グローバルヘルスの概念とそれを支える看護の役割について理解し理解した者に単位を授与する。</p> <p>講義目的・到達目標に記載する能力（知識・思考力等）の到達度に応じてSからDまで成績を与える。</p> <p>レポート（100%）</p> <p>レポートはルーブリック評価を用いてテーマの理解、主張の根拠付け、構成の明快さ、文章表現の適切さ、取りまとめと出典表示の5項目毎に採点し、合算したものを成績評価とする。</p>		
履修上の注意・履修要件	ICA関西訪問研修（神戸市中央区）を7月13日に実施予定。現地集合で、交通費は自己負担です（詳細は授業内で説明）。		

実践的教育	該当しない
備考	